



個別指導塾フォルテ

×



算数

5年生

第2節

小数のわり算①



小数のわり算ができるようになろう!

【例題】整数 ÷ 整数をわり切れるまで計算してみよう！

奥山選手は毎朝同じきよりを走っています。

4日で走ったきよりの合計が26kmであったとすると、

1日で走るきよりは何kmですか。わり切れるまで計算しましょう。



【とき方①】基本となる考え方

①～③をうめてみよう

$$26 \div 4 = \textcircled{1} \text{ あまり } 2 \text{ km}$$

あまった2kmをさらに4でわると、

$$2 \div 4 = \textcircled{2}$$

となるので、

$$26 \div 4 = \textcircled{3} \text{ km}$$

答え：① 6 ② 0.5 ③ 6.5

【とき方②】筆算を利用したとき方

$$\begin{array}{r} 6 \\ 4 \overline{) 26} \\ \underline{24} \\ 2 \\ \downarrow \\ 6.5 \\ 4 \overline{) 26.0} \\ \underline{24} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

整数のわり算と同じように
計算する

小数点以下のくらいに0があると考えて、
0をおろしてわり切れるまで計算を続ける。

問題

ゼルビーは計算ドリルをやっています。

15分間で18問の問題をとくことができました。

ゼルビーは1分あたり、
何問の問題をとくことができましたか？

わり切れるまで計算しましょう。



とき方

答え

1分あたり

問

【コラム】 わり算とあまり

今回はわり切れるまで計算する小数のわり算を勉強しました。

今までの整数のはん囲で計算して、あまりを求める方法とどのように使い分けるのでしょうか。

2つの例題を考えてみます。

(1) 14個のビー玉を4人で同じ数ずつ分けました。一人分は何個になりますか。

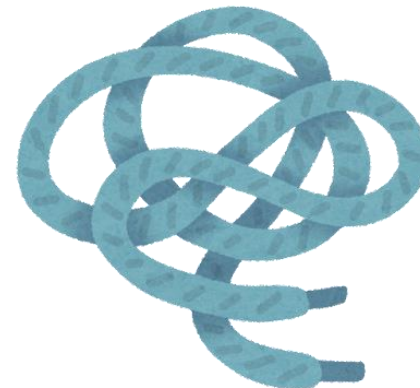
(2) 14cmのひもを4人で同じ長さずつ分けました。一人分は何cmになりますか。

どちらの問題も、 $14 \div 4$ で求めることができるのは分かりますね。

しかしながら、一般的に答えはことなります。答えはそれぞれどうなるのか、またなぜそうなるのか考えてみましょう！

(なぜそうなるのかは次回に続きます)

それぞれの答え (1) 3個ずつ分けて2個あまる (2) 3.5cm



問題

F C 町田ゼルビアのホームゲームで、
150mのトラックに、スパークラーをおいて12等分しました。

スパークラーは何mおきにおかれていますか。
わり切れるまで計算しましょう。



とき方

答え

m